

『日本弁理士会東北会知財セミナーin 岩手』

1. 日時 令和元年10月11日（金） 13:30～16:15
2. 主催 日本弁理士会東北会
3. 共催 岩手県機械金属工業協同組合連合会
一般社団法人岩手県工業クラブ
テクノプラザ岩手
4. 後援 一般社団法人岩手県発明協会
5. 場所 アートホテル盛岡（盛岡市大通3丁目3-18）
6. 講師 丸岡裕作（日本弁理士会東北会）
福勢慶昭（ラピラス電機株式会社 代表取締役）
7. 運営委員（日本弁理士会東北会）
丸岡裕作 船越巧子 東田潔 村雨圭介 野崎俊剛 高橋雪文
8. プログラム
13:30～13:35 齋藤昭彦東北会会長挨拶
13:35～14:50
講演：「発明の引出し技術」～企業の「生産性向上」,「人材確保」の為の知財戦略～
講師：弁理士 丸岡裕作
14:50～15:30
事例発表：「我社のブランドを確立できるか」～アロマ事業立ち上げの葛藤～
講師：福勢慶昭（ラピラス電機株式会社 代表取締役）
15:30～16:15
地元弁理士との懇談会：「弁理士の活用方法」
参加弁理士：齋藤昭彦（東北会会長） 丸岡裕作 船越巧子 東田潔（司会担当）
村雨圭介 野崎俊剛 高橋雪文 三浦誠一（特別参加）
9. 参加者：30名（内弁理士8名、連合会事務局2名含む）
10. 内容

本セミナーは、昨年度まで行われた「知財広め隊」事業を受け継いだ形のセミナーであり、東北会主催のもとに行われた。中小企業の方々に知財をビジネスに有効活用できることを認識してもらい、利用活用の促進を図ってもらうことを目的とした。

本セミナーは、3部構成であり、第一部は「発明の引出し技術」として、近年の知財事情を中小企業庁や特許庁の統計から分析し、発明の引出し技術の重要性を導き出し、「生産性向上」につながる発明を引出す基本手法を、技術の開発段階から出願段階、審査段階に至る流れに従って事例を交えて解説した。また、「人材確保」の観点から職務発明の考え方についても言及した。

第二部は「我社のブランドを確立できるか」として、アロマ事業の立ち上げから現在に至るまでの経緯を説明いただくとともに、ブランドの観点からの事業理念について、特許出願や商標登録例を交えてお話しいただいた。

第三部は「弁理士の活用方法」として、8人の弁理士が登壇して参加者と対峙し、各弁理士から自己紹介とともに弁理士の利用について考えを話してもらい、参加者からも質問や意見をいただいた。企業の事業の中で弁理士を利用することの意義について考えた。コーヒーを飲みながらの和やかな懇談会であった。

企業における知財活用の重要性や弁理士の存在意義も理解いただき、大変有意義なセミナーであったと思う。

文責：日本弁理士会東北会 丸岡裕作

